

事業所名

児童発達支援センター こまくさ学園

支援プログラム

作成日

2025年

2月

1日

法人（事業所）理念		多様化する福祉ニーズを的確に捉え、山形市並びに各関係機関と連携しながら、事業団が有する専門的機能を活かし質の高い福祉サービスを提供することにより、地域福祉の向上に資する。						
支援方針		○楽しく、安心して過ごせる場所を提供するとともに、様々な経験を積むことで心身ともに成長を促せるように支援します。 ○こどもの意志を尊重しこどもの最善の利益を大切に、よりよい療育を目指します。						
営業時間		8時	30分から	17時	15分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康観察及び健康、衛生管理支援 生活リズムや生活習慣の形成 基本的な生活スキルの獲得（食事、排泄、衣類の着脱、手洗い等） 季節感のあるバランスのとれた給食の提供 ・各科検診 年2回実施（内科、耳鼻科、眼科、歯科） 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚を養う 幼児期に必要な基本的な動きを取り入れながら、粗大運動を中心とした身体の土台作り 五感+前庭感覚・固有感覚を刺激し、保有する感覚を十分に活用できる支援 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 指先を使った遊びにより、動作性や認知力を高める 製作活動により色・形・重さ・柔らかさなどの感覚を養う、ハサミや鉛筆の使い方の習得 主体的な活動を通して遊びを深めていくことで、認知力の向上に繋げていく 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや様々な活動を通して多くの言葉に触れ、事物と言葉がマッチングできる環境作り 言語/非言語を用いて、コミュニケーションの疎通性を向上させ、自分の思いが伝わった経験を積む ひらがな、数字などの基礎的な文字への興味関心を拡げることができる支援 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> スタッフやお友達と一緒に遊ぶ遊びや活動を通して他者との関わりの経験を積み、“一緒に”できて楽しかった経験を重ねる 一人ひとりが大切にされる心地よいコミュニケーションを重ね、自己肯定感を高めていく 主体的な遊びを通じて「やり遂げた」という達成感を感じる ・見通しを立てることで自分の気持ちに折り合いをつける経験を重ねる 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ○遊びや活動の中で、保護者とともに丁寧に観察し行動や状況の理解を深め、助言を行います。 ○必要に応じて、活動の見学や個別面談を実施し、家族の子育てへの相談援助を行います。 ○保護者同士が交流できる機会を作り、情報交換や支え合いを支援します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ○インクルージョンの取り組みを推進し、園や事業所の利用開始時、また園や小学校への移行時及び移行後に情報提供や情報交換を実施します。 ○交流保育を通し、同年代の子ども同士の触れ合いを促します。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ○医療や教育機関との情報共有 ○ケース検討会への参加 ○各関係機関との会議への参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ○救命救急法研修（年1回） ○虐待防止研修、身体拘束適正化（年1回以上） ○衛生管理研修及び訓練/感染対策など（年2回以上） ○関係する外部研修会の参加など ○公認心理師・臨床心理士によるケースカンファレンス 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ○主な行事：お花見、乗馬体験、ドッグセラピー、社会見学(園外活動)、プール、年長児合宿、七夕、バスハイク、夏まつり、遠足、クリスマス会、だんご木刺し ○保護者交流の場：保護者研修、保護者茶話会、保護者懇談会等の開催 ○地域交流行事：まんさくの丘まつりの開催（年1回） ○避難訓練：年12回実施 						